

ダイテック情報紙

Yes! We Will.

第5号



ホシシヤクナゲ (ツツジ科ツツジ属 撮影場所: 岐阜県揖斐川町・小津権現山)

紙面 Contents

- 1 面 IT リソース レンタル化の波
「SaaS って一体なんさーす？」
- 2 面・3 面 CADWe'll 製品 こんな使い方
vol.2 ～設備特集～
- 4 面 一息スペース DaitecDiary
「男の料理教室」

～すばやく使える? 使った分しか費用がかからない?～

SaaS って一体
なんさーす?

手軽に使える SaaS の仕組み

最近の不況やデフレの影響で「レンタル」が人気みたいですね。レンタカーの利用が好調とか、ブランド品小物のレンタルなども結構注目を集めているようです。必要なときに必要な分だけ使うという感覚が節約志向にマッチしているのでしょう。

日常生活に限らず IT 分野でもこういったニーズがありまして、同じ考え方を当てはめたものが SaaS (サース)※1 と呼ばれるサービスです。ソフトウェアをはじめとする IT リソースを、購入するのではなく必要な時に必要な分だけ使い、その時間(期間)に応じて使用料を支払うという仕組みです。

IT リソースは通常のレンタルと違い、インターネット経由でほとんどの手続きが完結してしまう点が特徴です。申し込み、ソフトウェアのダウンロード、設定、使用の開始/停止といった一連の作業全てを PC の前に座っているだけで行えるのが一般的です。つまり、インターネットに接続さえできれば非常に手軽に利用できるサービスなのです。

IT リソースはサービス(レンタル)化へ

IT 業界では今、このような「IT リソースのレンタル利用」を多分野で可能にすべく各社が競争を繰り広げています。ベンダーが各種サービスをアピールしたり

解説するために、SaaS 以外にも「クラウド」「PaaS (パース/パース)※2」「IaaS (イアース)※3」「ASP (エーエスピー)※4」といった用語を利用しています。メディアを通じて目や耳にした方も多いことでしょう。実はこれらの単語はすべて「IT リソースのサービス化(レンタル化)」を意味しています。

サービス化により、ベンダーは PC やサーバーをはじめとする「モノの販売」ではなく、IT によって実現したい「コトの提供」を行うようになります。例えば、「300 人に対して電子メールを 3 年間利用できるようにする」「6 ヶ月間はサーバー 3 台分の処理能力を提供し、その後 12 ヶ月は 10 台分に増加し、その後の 2 ヶ月は 2 台分に縮減する」といったことが当たり前になってきてしまいます。

メリットは「素早く手軽に 柔軟に」

こうしたサービス化のメリットは何でしょうか。細かくはいくつかありますが、大きく次の二つに集約できるでしょう。

1. 素早く手軽に利用できる。
2. 需要の増減に対し柔軟に対応できる。

素早く手軽に利用とは、常時接続可能な高速回線が普及した影響が大きいでしょう。先述のように、インターネット経由でサービスを利用するまでの手続きがすべて完結します。このため、例えば休日や深夜であっても手軽にソフトウェアの利用を開始することができます。

需要の増減に素早く対応とは、まさにレンタルと同じ発想です。仕事量のピーク時には多くの IT リソースを利用し、閑散期には少しだけ、といったことができます。ピーク時に要するソフトウェアの

ライセンス数やサーバーの処理能力を、予め調達しておく必要はなく、文字通り必要なときに必要な分だけを利用すればよいのです。

改善の余地も 解決には時間が

ここまでの話では良いことばかりのようですが、次のような場合は SaaS やクラウドはまだ今後の改善余地があるといえます。例えば、インターネットに接続できない状況では大きくサービスレベルが落ちてしまいます。また、独自に開発した既存システムとの連携や個別のカスタマイズといったこともあまり得意だとはいえません。このような課題を改善しようと努力が続けられていますが、多くの人々が満足できるレベルにいたるまでにはまだ時間がかかるでしょう。

まずは「汎用的サービス」試して

今すぐにでも SaaS やクラウドで利用できるのは大まかに言うと「汎用的なサービス」です。例えば、電子メールやスケジュール帳といったグループウェア、Office アプリケーション、サーバーやディスクストレージ、アプリケーション開発/動作環境といったものです。これらは既に十分に実用レベルに達するものが多くあります。興味を持たれた方は是非、すぐに試してみてもはどうでしょうか。だって、すぐに始められて使った分しか費用がかからないのが、このサービスの特徴ですものね。

※1 Software as a Service

※2 Platform as a Service

※3 Infrastructure as a Service

※4 Application Service Provider

ご好評につき、今回も
当社 CADWe'11 製品の「ちょっと
便利な機能達」を紹介致します！

Vol. 2

当社 CAD ユーザー様へ贈る Oh, my useful コーナー

CADWe'11「こ、こんな機能があったなんて！」

基本編

■便利機能①「ファイルオープン時のフォルダを指定する」

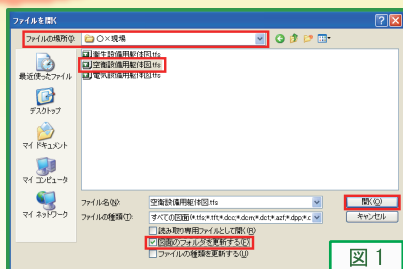


図 1

“図面を開くために「ファイルを開く」を選択。そこで出るファイルオープンのダイアログ内では毎回、図面データとは何の関係も無い「デスクトップ」！ 仕方なくエクスプローラをたぐり、何十回もクリックを重ねてようやく目的のフォルダに辿り着く…” そんな雪中行軍な経験をされる方に朗報！

実はファイルオープン時、最初に表示されるフォルダはユーザーが指定できるんです。

1. メニューバー [ファイル] - [開く] で「ファイルを開く」ダイアログを表示し、「ファイルの場所」で指定したいフォルダを選択します (図 1)。

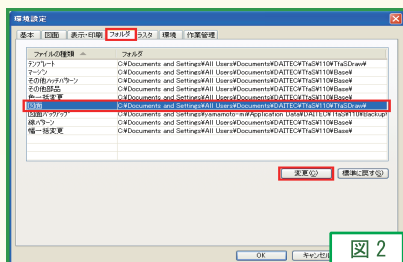


図 2

2. 「図面のフォルダを更新する」にチェックを入れて、ファイルを開きます。これで次回から、指定したフォルダが最初に表示されます (同 図 1)。
(※ファイルを開かずに「キャンセル」ボタンでダイアログを閉じると、図面のフォルダは更新されません)

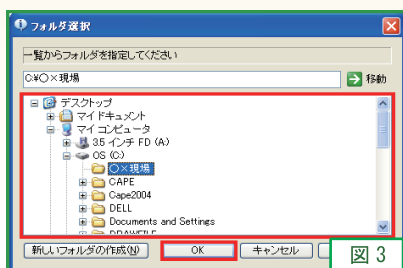


図 3

◆ワンポイント

「環境設定」からも、フォルダを指定することができます。

1. メニューバー [設定] - [環境設定] でダイアログを表示し、「フォルダ」タブをクリックします (図 2)。
CADWe'11 CAPE の場合は「ファイル」タブをクリックします。
2. 「ファイルの種類」の「図面」を選択し、「変更」ボタンをクリックします。(同 図 2)。
3. 「フォルダ選択」ダイアログが表示されますので、指定したいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックします (図 3)。
4. 「環境設定」ダイアログに戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。

■便利機能②「トリムを使った寸法線の変形」

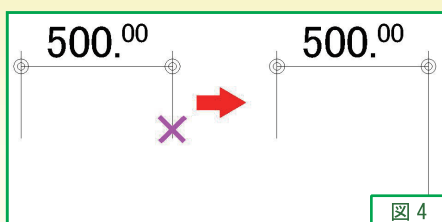


図 4

メニューバー [図形編集] - [トリム (トリミング)] - [伸縮] を使って簡単に寸法線の編集が出来るってこと…ご存知でしたか?! 編集したい寸法線の箇所によって色々なコマンドを使い分けることも可能ですが、伸縮だけでも色々な編集が可能です。これらはいずれもコマンド切替なしで編集できますので、是非お試しください！

1. 寸法補助線 (寸法線のいわば足) の先をクリックすると、寸法補助線の伸縮ができます (図 4)。

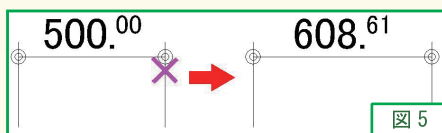


図 5

2. また、同じ寸法補助線でも寸法線 (寸法値と平行な線分) 付近をクリックすると、寸法そのものが変更できます (図 5)。

3. その他にもクリックする場所により、図のように寸法線を編集することができます (図 6)。

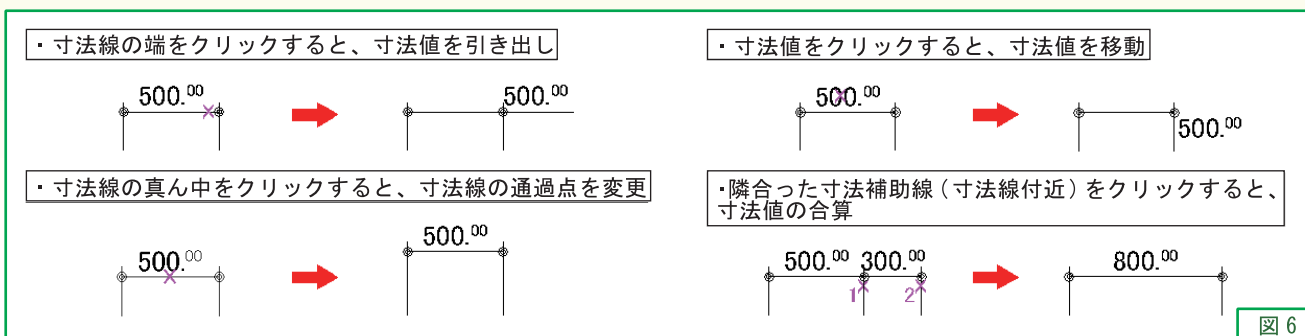


図 6

空調・衛生編

■便利機能③『用途変更機能』

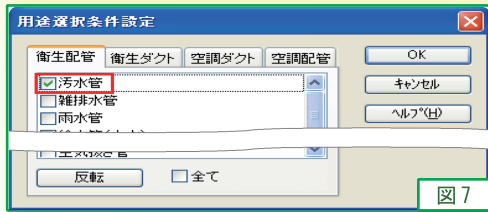


図7

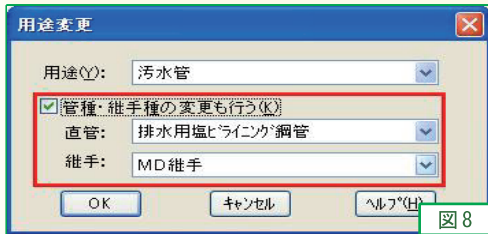


図8

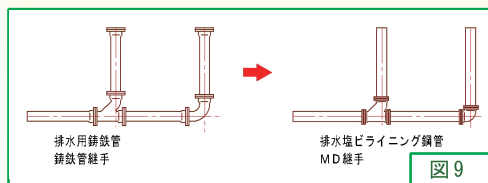


図9

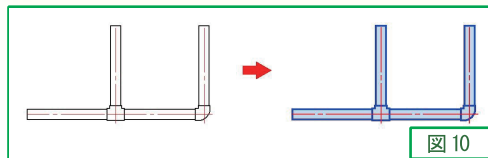


図10

作図した配管の管種を変更したい場合、「用途変更」機能で変更することができます。また、「用途選択」機能と組み合わせると1つの用途をまとめて選択することができます。ここでは CADWe' 11 Tfas の画面で操作をご説明します。

1. メニューバー [衛生 / 空調] - [用途変更] - [配管用途 (直管・継手変更)] を選択します。
CADWe' 11 CAPE の場合はメニューバー [衛生 / 空調] - [情報付加] - [配管用途 (直管・継手変更)] を選択します。
2. 単一の用途のみを選択したい場合は「用途選択」 をクリックし、[用途選択条件設定] ダイアログを表示します (図7)。
CADWe' 11 CAPE の場合は [ツール] - [ツールバーカスタマイズ] - 分類 [衛生 / 空調] - ボタン [部材の用途選択]  で、「用途選択」機能を追加してください。
3. 他に選択したい配管がなければ、もう一度 Enter します。
4. [用途変更] ダイアログが表示されますので、「管種・継手種の変更も行う」にチェックを入れ、直管・継手を選択して「OK ボタン」をクリックします (図8、図9)。

◆ワンポイント

これ以外に、「黒で作図した配管を青に変更したい」「配管の線幅を太くしたい」場合にも「用途変更」が使えます。
[用途・配管材設定] で色や線幅を設定した後、「用途変更」すると色や線幅が変更されます (図10)。

電気編

■便利機能④『配線作図』



図11

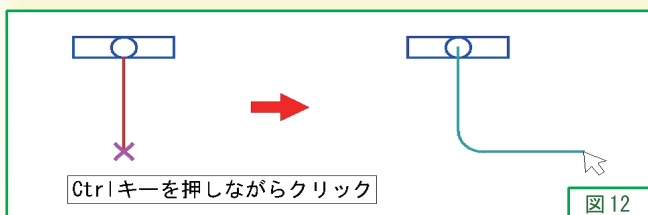


図12

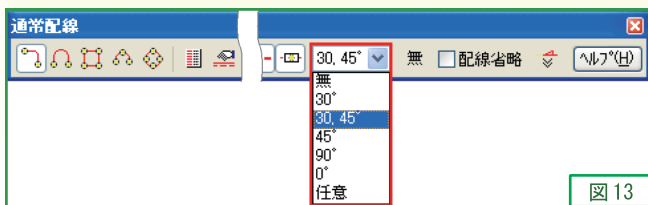


図13

配線作図機能は部品と部品を繋げるだけではなく、配線を繋げることもできます。

1. メニューバー [電気] - [配線] - [作図] でダイアログを表示し、「通常配線」ボタンをクリックします (図11)。
2. キーボードの Ctrl キーを押しながら配線をクリックすると、その配線から継続して作図できます (図12)。

◆ワンポイント

ダイアログで「配線作図補正角度」を設定してから作図すると、まっすぐ作図することができます (図13)。
配線を作図し始めるとダイアログが非表示になりますが、その場合は Shift キーを押しながらクリックすると角度を切り替えることができます。

■便利機能⑤『配線編集』

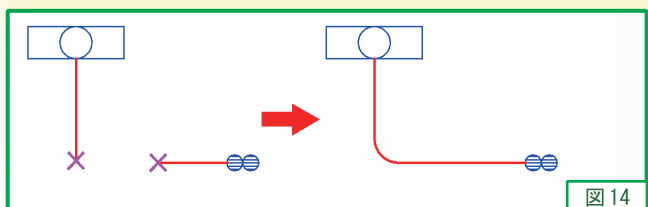


図14

配線同士を繋げる際、[2配線結合] を使っても繋がられます。

1. メニューバー [電気] - [配線] - [配線編集] - [2配線結合] を選択します。
2. 繋ぎたい2つの配線を順番にクリックするだけで繋げることができます (図14)。



料理教室「臨時」講師の当社社員が贈る…

Comfortable place

Daitec Diary

大学時代、バイト先の居酒屋で調理経験が多少あり、たまに自炊もしていた頃は料理にそこそこ興味があった私。しかし結婚後は「カレー」か、大好物の「ぶりのあら煮」、他は気まぐれにレシピを見つつ簡単に調理する程度だった私。そんな私が、ふとした知人の誘いから昨年6月より「男の料理教室」に通っています。

初回は計量スプーンの量り方や玉ねぎのみじん切りなど、基本的なことを、回を重ねるごとに応用や工夫レシピなどを講師の先生に教えてもらいました。参加している13名の中では私は若い方で、ご年配の方々も一生懸命に先生の話聞き、調理に精を出されていて感心するばかりです。食器洗いも進んで皆さんがやられますので頭が下がる思いでした。

「ダイテック…内部にはどんな人達がいる？」
ヴェールとオブラートに包まれた企業秘密な社員達。
本企画では社員達の課外活動をこっそり覗き見ます。
今回のDiaryは「男の料理教室」です☆



うまそー



ある日、先生の都合が悪く次回教室が自習となったので、突如私が臨時講師をやることに…(調子に乗るタイプなので自ら立候補!)。初めは不安でしたが、インターネットで簡単レシピを探したり、会社の同僚に聞いたりしてメニューを考案し、家で家内の協力のもとにリハーサルし準備をしました(この時点で数回レシピ変更)。当日は若輩者の私が皆さんから「先生!」と呼ばれて、嬉しくも恥ずかしい気分。茶碗蒸しを最初に作ってしまい食べる時には冷めていたなど、失敗も多少ありましたが、楽しく料理出来ました。

この料理教室は、職場や経歴には関係なくお付き合いできる雰囲気がとても心地よいのです。そして、食事の美味しさや料理を作る大変さもしみじみと分かりました。また、調理の共同作業で人に対する思いやりとふれあいの大切さも感じています。仕事の面でもこの気持ちを表に出して、お客様とお付き合いさせていただきたいと考えている、もうすぐ50歳のしがない営業マンでした。



「WebCADD.com」の管理人ブログ

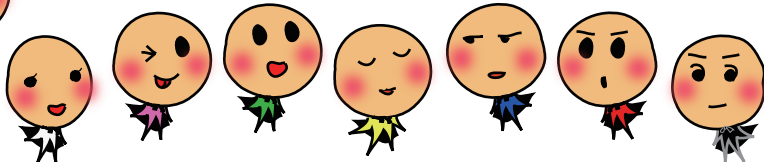


ウエカレンジャーです。僕達が大活躍している

「WebCADD.com」の管理人ブログを紹介させていただきます。

このブログは、CADの操作方法やグルメ情報、新人の成長日記までアップしています。もしお時間がございましたら遊びに来てください。お待ちしております。

アクセスはこちらから→ <http://webcadd.seesaa.net/>



編集後記



はじめまして、新編集長のTと申します。今号から、Yes! We Will. デビューしました! どうぞよろしくお願い致します。

先日、パソコン講習を受けました。基本の知識・機能・操作方法を学ぶと、自己流の操作がいかに非効率だったかを実感します。いままでどれだけの時間と労力を費やしてきたことか…(泣)

さて、今号はCADWe'11 製品の便利機能特集第二弾でした。皆様の貴重な時間と労力を無駄にしない為に! 是非ご活用下さいませ。「Vol.1 も気になる!」という方はVol.1 掲載の第2号も併せてお楽しみ下さい。バックナンバーはこちら→<http://soft.daitec.co.jp/>

ダイテック情報紙 Yes! We Will.

[編集・発行] 株式会社 ダイテック

[発行日] 2010年5月25日

製品のお問い合わせ・ご用命は



株式会社 **ダイテック**

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-16-19 URL: <http://www.daitec.co.jp/> E-Mail: cad-setsubi@daitec.co.jp

北海道 011-222-9631
北陸 076-226-0470

東北 022-225-0141
中国 082-244-8501

東京 03-5762-3511
四国 087-826-3691

中部 052-856-6633
九州 092-451-3320

関西 06-6965-4535

※ CADWe'11 はダイテックの登録商標です。

※ 記載されているすべての社名・製品名等はそれぞれの会社の商標または登録商標です。